

太陽光発電ガラスを展示ホールに常設

～発電した電力は業務用自動清掃ロボットにも活用～

パシフィコ横浜（正式名称：株式会社横浜国際平和会議場、所在地：横浜市西区、代表取締役社長：林 琢己）は、2025 年 6 月 24 日、展示ホール 2 階コンコースに、AGC 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役兼社長執行役員：平井 良典）が製造・販売する後付けタイプの太陽光発電ガラス（以下、製品名：後付けサンジュール）を設置しました。パシフィコ横浜での太陽光発電設備の設置は、ノースの屋上に続き 2 か所目です。また、同製品の常設設置は国内で初めてとなります。



製品拡大

当社は、サステナビリティ方針に基づき、脱炭素社会の実現を目標に掲げ、MICE 施設におけるエネルギー使用による CO₂ 排出量の実質ゼロ化※など様々な取組を推進し、環境性能国内 No.1 の MICE 施設の実現を目指しています。この度、同取組の一環として、「自らエネルギーを創出すること」にもチャレンジすることを決め、「後付けサンジュール」を常設設置しました。太陽光で発電した電力は、清掃業務の DX 化の一環として導入した業務用自動清掃ロボットの充電に使用するほか、設置型個室ベビーケアルームやカプセルトイ「カプセル都市計画 パシフィコ横浜」の筐体への給電にも活用します。

※ 関連リリース（パシフィコ横浜 2025 年 4 月 22 日発表）

[パシフィコ横浜は、2050 年の目標を前倒してエネルギー使用による CO₂ 排出量の実質ゼロ化を実現 ～2024 年度分として約 9,000t-CO₂ の削減～](#)



業務用自動清掃ロボット



設置型ベビーケアルーム



カプセルトイ「カプセル都市計画 パシフィコ横浜」の筐体

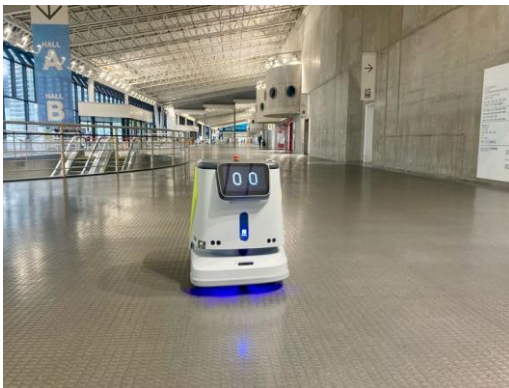
当社は、お客様やお取引先のみなさまとともに作るサステナブルな施設を目指し、これからも新たなチャレンジを続けてまいります。

■「後付けサンジュール」を採用した経緯

「後付けサンジュール」は、既存建物への導入を想定した先進的な太陽光発電ガラス製品です。建物の外観を損なわず、窓ガラスの屋内側から施工できるデザイン性や、コストや工期を抑え、メンテナンスや修理交換も容易な実用性にも優れており、設置を決定しました。

■業務用自動掃除ロボットについて

当社では、施設管理の効率化やサービス品質の向上を目的に、業務用自動掃除ロボット（PUDU CC1）を導入しました。AIを搭載し、マッピング機能やティーチング機能により、指定されたエリアを効率よく清掃します。また、カメラやセンサーにより障害物を把握・回避できる機能を備えており、来場者の安全性も確保した稼働が可能です。今後も、あらゆる面で DX を取り入れ、持続可能な方法で快適な施設運営を目指します。



＜取材のご希望、本件に関するお問い合わせ先＞

パシフィコ横浜 経営推進部 経営企画課 木村・土屋 TEL：045-221-2159

お問い合わせフォーム：<https://www.pacifico.co.jp/press>